



全日本自治団体労働組合 北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

2010 秋期闘争

闘争体制確立しよう

7万5千人組合員のカンパで「団結の誓い」として建設された、北海道自治労会館は、今年30周年を迎える。1980年11月に落成。今や利用者も増え、道外大学入試や、各種検定会場など、社会に貢献する会館になった。この「朔風」

は会館北側にあるブロンズ像「朔風(彫刻家・本田明二さん作)」の名だ。「きびしい北風にさらけ、たくましく前進を続けるエネルギー」と、くじけることを知らぬ強固な勇気、未来を見つめる自治労を表現したという。

朔風

衆院5区補選・中前茂之さん



選挙事務所内で感謝の言葉を述べる中前さん
=10月24日

「政治立て直したい」一念だった

菅内閣発足後、初の国政選挙となった衆議院北海道5区補欠選挙は、10月24日投票開票され、自治労道本部が推せんする民主党新人の中前茂之さんが、自民党前職に敗れた。今回の選挙は、古い政治からの脱却と世代交代の必要性、次世代に責任を持つ政治を掲げたばかりだが、厳しい結果となった。中前さんは、「北海道の政治を立て直したい一念でやってきたが、私の力が足りなかった」と、関係者におわびと感謝の言葉を述べた。自治労道本部は、今回の結果をしっかり受けとめ、来春の統一自治体選挙にむけ、組合員とともに、全力で道政奪還にむけてたたかいをすすめていく。

11月18日統一行動日

2010 賃金確定闘争の妥結基準

- (1) 月例給、一時金関係
 - ①基本賃金・一時金は、人事院勧告を最低限 ②50歳台後半層職員の給与等1.5%減額反対 ③年間給与の制度調整反対 ④自宅住居手当の現行支給額の維持
- (2) 60時間超の時間外勤務手当に法定休日の勤務を算入
- (3) 独自削減に反対し、早期停止・期間限定を明確化
- (4) 単組の独自課題の解決など

2010現業・公企統一闘争の妥結基準

- (1) 現業賃金の現行水準維持と格差解消
- (2) 現業・公企職場の一方的な合理化阻止
- (3) 事前協議制の確立と協約・協定締結
- (4) 欠員・退職者の早期補充など

※詳しい妥結基準は、道本部HP単組・組合員専用の【資料】(11月12日付)第51回定期大会当面の闘争方針を参照

2010賃金確定闘争は、現業・公企統一闘争と結合し11月18日を山場にたたかいをすすめている。すでに単組での統一要求書提出(10月25日)は終了した。11月1日に回答を受け、2日からの重点交渉期間において、各単組で交渉が展開される。

道本部は10月26日、道庁は、2年連続の月例給市町村課、北海道町村会、北海道市長会にたいして「2010年度自治体労働者の賃金・労働条件等の改善に関する重点要求書」を提出した。道本部から、「今年の人

言える声が寄せられてい

る」と述べた上で、現行賃金水準を維持し生活の改善が必要と主張した。また、病院特例賃や退職手当償に限り自宅住居手当や給料表の号増増設などが厳しく助言されていることに対し、各々の自治体の事情を踏まえた配慮が必要であり、画一的な助言は憤りよう強く申し入れた。これに対し

道市町村課は「要求内容について十分検討し回答する」と述べたことから、道本部は回答交渉の実施を申し入れた。道市町村課との回答交渉は11月12日を予定している。

対自治体闘争 しっかりと

今後は、11月18日の道本部統一行動日やマ場などに、対自治体闘争を展開する。月例給、一時金は、勧告を最低限。50歳台後半層職員の給与1.5%削減は、職場の労働条件底上げ。これらを基本に交渉を強める。闘争体制を確立し2010秋期闘争を全力でたたかおう。

自治労共済 全国集会

組合員の生活を守る

自治労共済本部は、10月21日、22日の両日、ポールスター札幌と自治労会館で2010年度全国集会を開き、昨年より約100人を上回る464人(道内から464人(道内から45人)が参加し大盛況となった。この集会は、単組の推進担当者

上・経験交流を目的に開かれ5回目となり、広く全国の単組の取り組みを肌で感じることができ、学習の場として浸透している。

冒頭、君島自治労共済本部理事長のあいさつの後、全労済との統合問題に関する報告と加入拡大に向けた2本の基調報告が行われた。

地元北海道斜里町労連の取り組みをはじめ、4県支部の単組が取り組み

報告を行った。また、今回新たに、グループ方式の全体ディスカッションを実施し、自治労共済の加入推進活動が、自治労運動との「車の両輪」として、組織強化の面からも必須の推進課題と再認識した。

全体交流会は、地元アトラクション「YOSAKOIソーラン」2010大賞受賞の「夢想漣(ゆめそうらん)えさし」の演舞で会場内は熱狂に包まれた。

2日目は6つの分科会で、退職後の生活と対策を学ぶ「シニアライフ」

技能の向上に資する研修を全労済北海道本部とともに実施していく。

「加入推進活動」方法を学ぶ分科会、保障相談のための聞く・話すスキルアップのための「コンサルティングスキル」など実践的な学習を行った。

次回開催地は福岡県久留米市で来年10月20日、21日の予定。

組合員の生活を守ることを主眼においた生活保障相談活動の定着が、自治労共済の推進力を高めていくことから、道支部としても、知識の習得・

国際反戦デー

武力で平和をつくれぬ!



今年45回目の10・21国際反戦デー北海道集会が、武力で平和はつけれぬ!が、10月21日、大通り6丁目広場で開かれた。道平和運動フォーラム山田代表が「世界中の紛争が武力を使わず解決

し、また、核兵器をなくすためにできることをやってみよう」と訴えた。その後、「あらゆる戦争をやめさせるため、憲法9条をはじめとする平和憲法の理念を世界に広く発信し、護憲・反戦・平和・反核の運動を大きく前進させよう」と、集会決議が承認された。集会后、約2kmのコースを参加者200人が戦争反対を訴えデモ行進を行った。(写真)

2010年度自治労共済全国集会



464人の参加者に語りかけ、初の全体ディスカッションの司会をするレーベン企画・南雲聡樹さん

は、単組の推進担当者技能の向上に資する研修を全労済北海道本部とともに実施していく。

技能の向上に資する研修を全労済北海道本部とともに実施していく。

技能の向上に資する研修を全労済北海道本部とともに実施していく。

技能の向上に資する研修を全労済北海道本部とともに実施していく。

2010 秋期闘争スケジュール

- 10月25日(月) 要求書提出、組合旗掲揚(闘争集結まで)
- 11月1日(月) 回答日
- 11月2日(火) 重点交渉期間開始
- 15日(月) 腕章・リストバンド着用
- 17日(水) 超勤拒否
- 出張・諸会議拒否
- 11月18日(木) 道本部統一行動日

要求→交渉→妥結

